

「沿線の魅力発掘を通じた活性化を目指したガイドブックの編集・発行」

大阪公立大学 大学院 文学研究科 天野 景太

2023年度の地域実践演習(天野担当)では、参加学生たちのイニシアティブに基づき、彼らの企画・取材・編集による観光ガイドブックを制作しました。取材や配布にあたり、地域の寺社や店舗の方々の協力を得つつ行なっていますが、学生自らが彼らの視点に基づきながら地域の「たのしみ方」に関する情報発信を実践することで、ガイドブックを手にする住民の方々に、新たな地域の魅力を伝えることを目指しています。

本年度は、大阪市と堺市を結ぶ阪堺電気軌道の上町線(天王寺駅前～住吉)および阪堺線(住吉～浜寺駅前)の、駅周辺の隠れた魅力を発掘することをテーマとして、各駅ごとに駅から歩いてアクセス出来る店舗や寺社、エンタメ施設などを取材し、写真を中心にビジュアル重視の紙面として編集を行いました。

学生は5名が参加。2023年10月から11月にかけて、企画と事前調査、12月から2024年1月にかけて現地取材を、2月から3月にかけて、記事の執筆および誌面のデザインを行ないました。

完成したガイドブック『阪堺沿線旅のしおり』(A5版24ページ)は、2024年5月以降に、取材にご協力いただいた地域の関係者らの協力を得ながら、阪堺沿線地域において活用する予定です。

